

こんなことはありませんか？

学校内のもめごとの

未然防止と解決



☆ けんかや対立を避けてしまう

兄弟姉妹が少なく、子どもたちは、けんかや対立に縁のない日常を送っています。しかし、対立に慣れていないので、ちょっと何かがおけると一大事になってしまう。対立を避けるのではなく、自分の意見を伝えながら、友だちの意見も聞けるようになるにはどうしたらいいでしょう？

☆ 困っているときに、助けてと友達に言えない

自分が困っているとき、悩んでいるとき、助けて欲しいということはどう表現したらよいのかが分からない。そんな子どもが増えてきています。

☆ 学生同士のけんかに どうやって入っていったらわからない

休み時間の教室や放課後の校庭で、子どもたちが集まってザワザワしている。そんなとき、どうやって入っていったらよいのか。中立、公平な立場で対立に関わるには？

メディエーターズの話し合い

☆ 子ども同士のちょっとしたケンカの話し合いを助ける

学校内の先生や関係者でなく、第三者として間に入ることで、中立的な立場でのお手伝いが可能になり、先生が間に入る場合にご一緒させていただくなど、いろいろな方法があります。



☆ 保護者からの苦情

教員に対する苦情に学校が対応すると、保護者にとっては対応している担当者は教員の味方だと感じることがあります。そうになるとなかなか、納得いく話し合いが持てません。そんな時、第三者として話し合いを設定し、話し合いの進行をお手伝いできます。

☆ 保護者同士の対立

PTAや学校の方針をめぐり、保護者同士が対立してしまった場合、学校側の対応いかんによっては、学校側に批判が向いてしまいます。学校側と協力しながら話し合いの設定と進行をお手伝いします。

一般社団法人 メディエーターズ
Mediators

メディエーターズの出張授業

☆ 道徳、総合学習、人権の授業など

対立、合意形成、いじめ、コミュニケーションなど多様な科目での応用が可能です。

事前に詳細な打ち合わせをさせていただき、学校やクラスに合わせてプログラムをつくり、その後のアフターフォローも必要に応じてさせていただきます。

☆ アニメやゲーム、グループディスカッション、丁寧な振り返りを通して子供たちの主体性を活かし、将来の行動につなげます

講演などの一方的に話を聴くスタイルではなく、学生どうしがワークやゲームを通して学生同士が学びあうスタイルの授業をご提供します。

☆子ども達の感想

- ・友達と話しているとき、ヒートアップした時に落ち着くことができた
- ・学校などの話し合いの時に一つの意見にとらわれず、他の見方もできるようになってきたと思う
- ・友達に相談されたとき、メディエーションで学んだことを活かすことができた。自分の意見を強要せずに相手のしたいこと、解決策を出すことができた
- ・誰かと話をしているときや意見を聞いているときは、相手の目をみて何らかの反応をするようにした。あいづちを心がけた。
- ・学校外でおこなっているイベントにむけてもめごとがあったが、本番直前の仲間われで対立している人の間に入って仲直りさせることができた。「ありがとう」って言ってもらえてうれしかった
- ・部活で問題がおきたとき、先輩後輩で対立した時にメディエーションで学んだ事（配布されたプリント)に基づいて進めたところ、きちんと後輩先輩の意見をきくことができ、問題の改善に役だった
- ・もめごとがおき、対処できなくなったら相手と話し合う時に中立な立場で話の進行とまとめをしてくれる人に頼って見ようと思った



一般社団法人メディエーターズとは？

代表理事である安藤信明と田中圭子が、NPO日本メディエーションセンターを退会して、平成25年3月、一般社団法人メディエーターズを設立し、学生へのメディエーション教育や介護メディエーター®の養成のほか、修復的司法（RJ）などにも取り組んでいます。

メディエーションに関する講演会、セミナーやメディエータートレーニングなどを随時実施し、平成27年6月には、「調停にかかわる人にも役立つメディエーション入門」（弘文堂）を発売し、日本では初めてのトランスフォーマティブモデルのメディエーション機関として活動を続けています。

一般社団法人 メディエーターズ

〒105-0004 東京都港区新橋1-18-2 明宏ビル別館7階

Tel: 03-6206-6885 Fax 020-4664-2714

E-mail: info@mediators.jp URL: www.mediators.jp

Facebook: <https://www.facebook.com/mediators>